2024年度 個人投資家説明会



2024年8月1日



会社概要

大阪有機化学工業株式会社

創立 1941 年 12 月 8 日

設立 1946 年 12 月 21 日

代表者 代表取締役社長 安藤 昌幸

上場市場 東証プライム(証券コード: 4187)

従業員数 461 名(連結)

資本金 36 億 29 万円

売上高 289 億円 (新収益認識基準)



当社 金沢工場 航空写真

経営理念 わたしたちは、一人ひとりの個性を大切にし、ユニークな機能を備えた材料を提供することにより、 お客様と共に社会の発展に貢献します

経営ビジョン 特殊アクリル酸エステルのリーディングカンパニーとして、グローバル市場に価値を提供する

事業拠点





酒田工場

製造所 122,265m² *ISO-9001*

ISO-14000 ISO-45001



東京オフィス



大阪事業所

事業所 研究所 26,472m²

ISO-9001

●弊社事業拠点

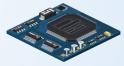
2024.08.01現在

事業領域

当社はさまざまな製品の主原料であるアクリル酸を**日本で初めて工業化に成功** その後、**特殊アクリル酸エステル**をキーマテリアルとして**様々なシェアNO.1製品を開発**

- 当社が得意とする領域 -

半導体



レジスト用モノマー

超高純度溶剤

(ArFレジスト用モノマー)

世界シェア NO.1, 70%以上

日本初

あらゆるモノの 原料として使用

アクリル酸



日本で初めて アクリル酸を工業化 ディスプレイ



電子材料用レジスト材、 特殊ポリマー (LCD、タッチセンサー)

化粧品



化粧品原料ポリマー

自動車塗料

特殊粘接着材



粘接着剤原料 塗料用原料

その他特殊用途

国内シェア NO.1

(4-HBA)

世界シェア NO.1

(事業領域外) その他、紙おむつ等

業績/資本効率性

当社は技術開発力に強みを持ち、成長事業への積極的な投資により売上を向上。また、効率性も重視し、長期的かつ持続的な成長を目指している。

技術開発による事業成長

売上高 CAGR 2.5 %/年 EBITDA CAGR 8.4 %/年 EPS CAGR 14.0 %/年

■売上高(億円) ■EBITDA(億円) 292 286 286 225 237 237 235

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23 FY24 (見込)

52

48

41

32

27

55

83

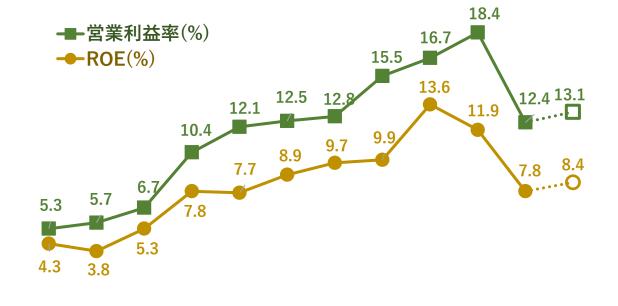
65

82

60

資本効率性の向上

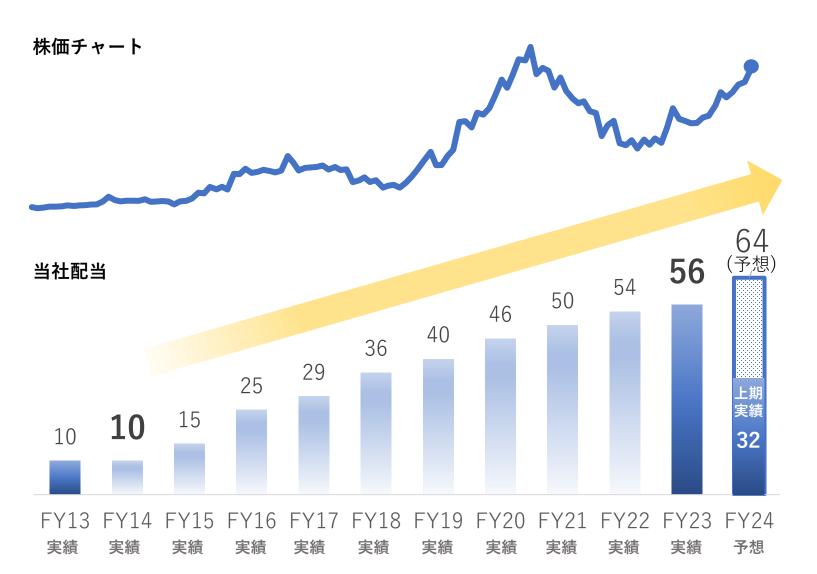
営業利益 CAGR 11.7 %/年 ※ 営業利益率の変化 2.3 倍 ROEの変化 1.8 倍



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23 FY24 (見込)

株価/株主還元

事業の成長と共に市場価値が向上し、株価は<u>7.7倍に増加</u>(2013年度比)。 株式配当を9年連続増加。配当額 5.6倍(2013年度比)。2024年度も大幅な増配を予想。



2024年 7月 1日 株価 **3,790** 円 時価総額 **801** 億円

株主配当 9年 連続増配 5.6倍 (2013年度比) 10年 連続増配(予想)

2023年度実績

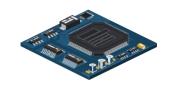
EPS : 153 円

配当性向: 36.6 %

各事業セグメント 売上高比率

電子材料事業

半導体用原料

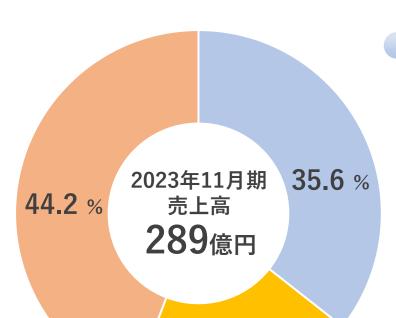


表示材料用レジスト、ポリマー







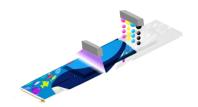


20.2 %

化成品事業

自動車塗料用原料 インクジェット用原料





粘着剤用原料 コンタクトレンズ用原料





機能化学品事業

ヘアケア用ポリマー



防曇材料



電子材料用溶剤



化成品事業

高度な蒸留技術を活かした高品質な**アクリルモノマー**を豊富にラインナップ

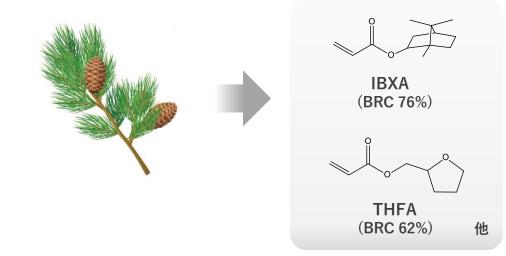
自動車塗料

独自構造や高い純度により、世界シェアNO.1 となる材料を複数保有



バイオマスアクリレート

天然由来の資源(バイオマス)を用いた環境にやさしい製品

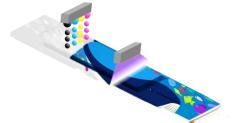


%BRC···Bio Renewable Carbon

<u>UVインクジェット・3Dプリンティング</u>

ディスプレイ用光学系粘着剤









機能化学品事業

高品質を活かし、**化粧品原料・特殊溶剤**など多岐にわたり展開

化粧品原料

<u>化粧品用防腐剤</u>



高純度化技術を活かし においの少ない材料を提供。

皮膚への刺激が強いパラペンを 使用せず、肌にやさしい処方が可能。

電子材料用溶剤



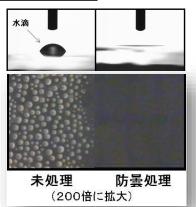
超高純度化技術により、 金属不純物をppbレベルまで低減。 半導体用原料などに使用。

<u>ヘアケア用ポリマー</u>



化学構造の多様性を活かし 指通り、肌触りが良好な製品を提供。

防曇材料



超親水性ポリマーによるコート剤 独自のブラシ構造により、 高い曇り止め機能に加え、 セルフクリーニング性能も備える。

電子材料事業 (半導体用材料)

最先端半導体製造に欠かせない高技術な製品を保有

半導体用フォトレジスト原料

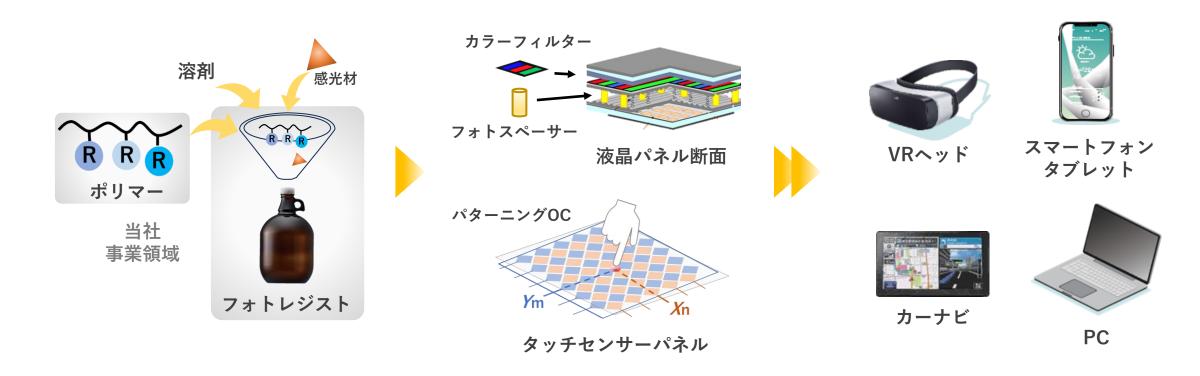
半導体製造で重要なフォトリソグラフィー工程で使用されるフォトレジストにおいて 当社はArFレジスト用原料のトップシェア(70%以上)。また、最先端EUVレジスト用材料も提供。



電子材料事業(表示材料)

ディスプレイ・タッチセンサーで使用されるレジスト材を原料モノマーから設計

当社独自のアクリル樹脂設計技術を生かし、 液晶パネルやタッチセンサーパネルなどの高機能化に役立つ材料を提供



<u>中期経営計画 ~Progress & Development~</u>

前中期経営計画 Next Stage 10は2022年度で目標達成した事に加え、会計基準の変更(収益認識)もあり 1年前倒しで終了。2024年度から新中期経営計画 P&D 2030をスタート。

新中期経営計画

Progress & Development 2030 (P&D 2030)

前中期経営計画

Next Stage 10

2年前倒しで達成

| | FY19 (実績) | FY20 (実績) | FY21 (実績) | FY22 (実績) | FY23 (実績) | FY24 (予想) | FY26 (目標) | FY30 (目標) |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|
| 売上高 | 286 億円 | 286 億円 | 350 億円 | 322 億円 | 289 億円 | 320 億円 | 400 億円 | 500 億円 |
| 営業利益 | 36 億円 | 44 億円 | 58 億円 | 59 億円 | 35 億円 | 42 億円 | 56 億円 | 75 億円 |
| 売上高営業利益率 | 12.8 % | 15.5 % | 16.7 % | 18.4 % | 12.4 % | 13.1 % | 14.0 %以上 | 15.0 %以上 |
| 戦略投資・事業投資 | 35 億円 | 47 億円 | 16 億円 | 11 億円 | 86 億円 | 累 | 積 300 億円以. | L |
| ROE | 9.7 % | 9.9 % | 13.6 % | 11.9 % | 7.8 % | 8.4 % | 10.0 %以上 | 12.0 %以上 |
| ROIC | 7.7 % | 9.0 % | 9.7 % | 9.3 % | 5.4 % | - | 8.0 %以上 | 9.0 %以上 |
| 配当性向 | 29.2% | 30.8% | 22.2% | 24.9% | 36.6% | | 40 %目安 | |

化成品 :特殊アクリル酸エステルの非化石化比率向上および海外展開強化。

機能化学品 :生体適合材、新規電子材料用途などへの展開。化粧品原料、ヘアケアポリマーの海外展開。

表示材料 :非ディスプレイへの用途拡大。次世代ディスプレイ用材料開発。 半導体用材料 : 最先端プロセス用材料のシェア拡大。周辺材料への事業展開。

新規事業 :伸縮性材料、有機圧電材などの事業化。

> 電子材料 半導体用材料 ArFフォトレジスト原料 EUVフォトレジスト原料

> > 海外展開

最先端プロセス シェア拡大

新規事業

伸縮性材料

事業化 有機圧電材



生体適合材 電材用途への展開

化粧品原料 ヘアケア

非石化比率向上

機能化学品

化成品 バイオマス アクリレート 販路拡大

化成品

海外展開

特殊アクリル酸 エステル

非ディスプレイへの用途拡大

超親水性ポリマー

電子材料

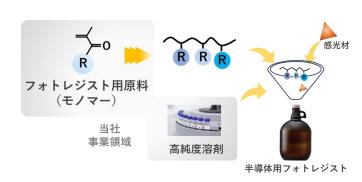
表示材料用ポリマー ネガフォトレジスト材

市場成長性

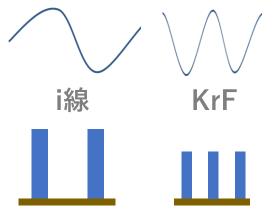
中期経営計画達成に向けて ~最先端半導体用 フォトレジスト原料~

事業拡大に向け、積極的にリソースを投入

当社の強み**"アクリルの超高純度化"**を活かしたArFレジスト原料では世界トップシェア。 最先端プロセス **EUV** においても実績を重ねている。



当社事業領域



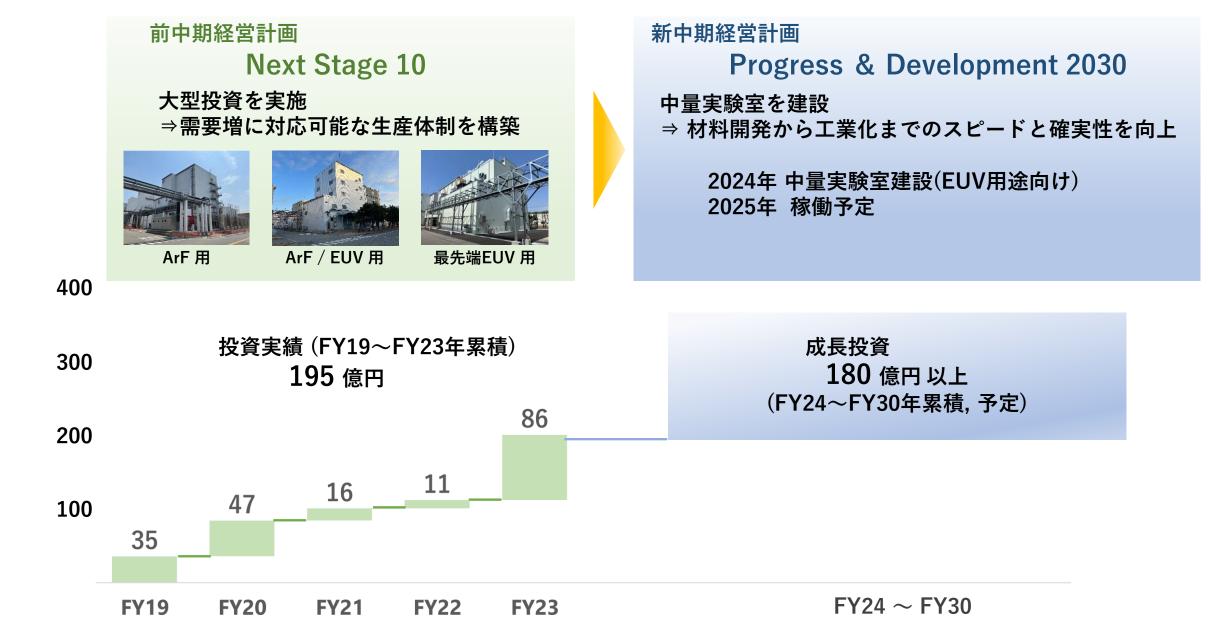


より高純度化 より厳格な管理基準を スピーディかつ確実に実施

材料のニーズ

- ・pptレベルの超高純度化
- ・ばらつきのない品質
- ・各原料、各工程での管理
- ・素早い開発/工業化、法対応

中期経営計画達成に向けて ~最先端半導体用 フォトレジスト原料~



中期経営計画達成に向けて〜海外戦略の強化〜

2024年8月より韓国での連絡事務所を販売拠点として新設。さらに北米への拠点設置を検討。中国拠点である光碩(上海)化工貿易有限公司と共に アジア・アメリカへの拡販に注力。

新設 2024 年 8 月 設立予定



韓国大阪有機化学工業㈱

商号 : 韓国大阪有機化学工業株式会社

Osaka Organic Chemical Industry Korea Ltd.

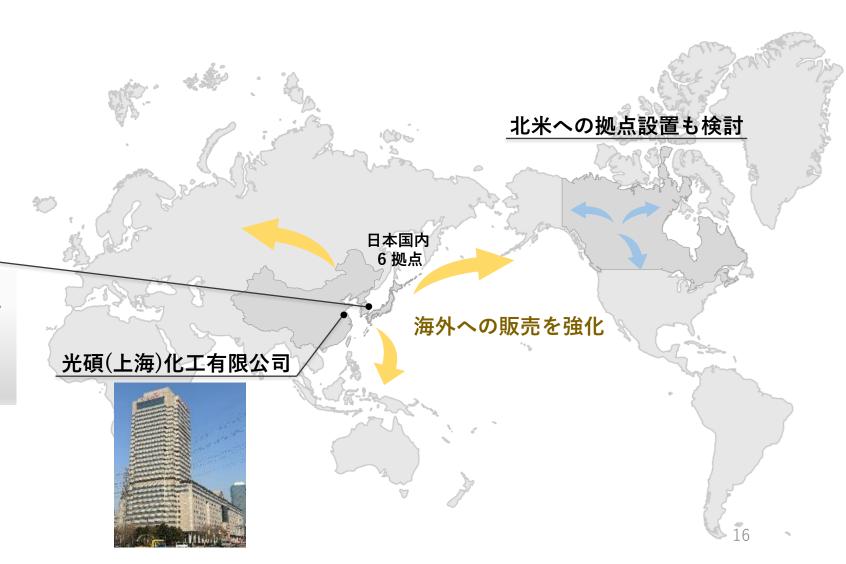
所在地 : 大韓民国ソウル特別市

代表者 : 小笠原 元見(弊社 事業本部長)

事業内容:有機化学薬品関連商材の貿易・販売等

資本金 : 800,000,000 ウォン

出資比率: 当社 100%



キャピタルアロケーション

- ・効率的な投資、海外戦略の強化による事業成長やコスト削減による利益最大化により営業CFの拡大に努める。
- ・株主還元に関しては、配当性向40%目安とし、株主利益の向上につなげる。
- ・成長投資は、生産能力や品質、技術開発といった事業投資に加え、環境、DX、教育への投資を実施し、 会社としてのレジリエンスを高めていく。

キャッシュイン

累積営業CF 約 600 億円以上

(経費計上投資等の調整後、税金支払い前)

- ・効率的な投資による事業成長
- ・海外戦略の強化による事業拡大
- ・効率化/自動化による生産性向上

- ・有価証券売買など
- ・株主還元以外の財務CF

キャッシュアウト

株主還元

- ・配当性向 40% 目安
- ・機動的な自己株取得

累積投資 約 300 億円以上

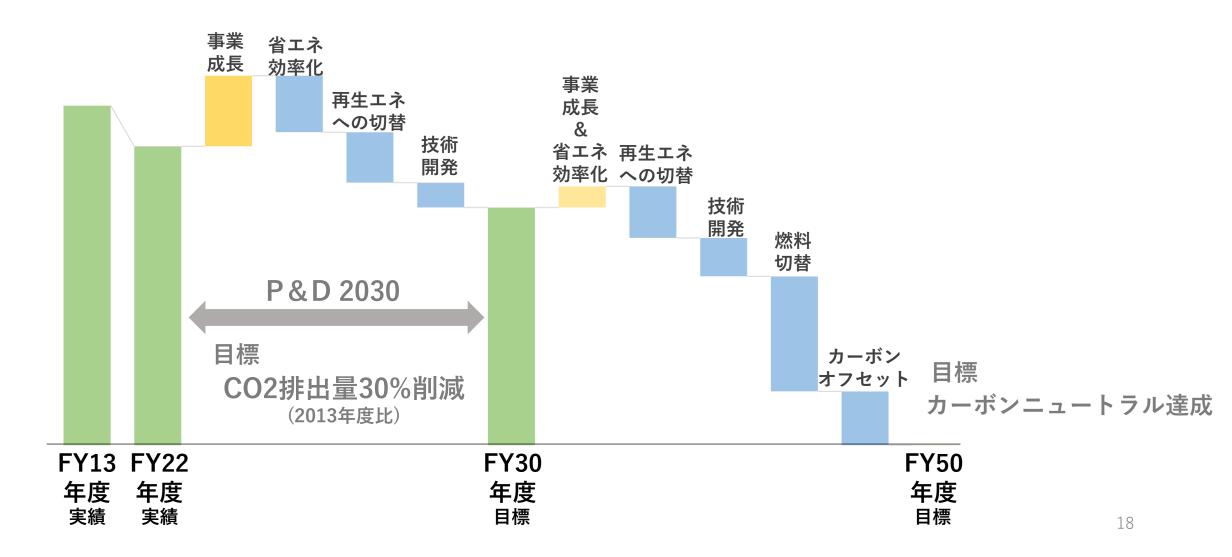
- ・維持投資 120 億円程度
- ・成長投資 180 億円以上
 - ・半導体用材料などの生産能力向上
 - ・新規事業の試作プラント建設
 - ・研究開発や品質向上への投資
 - ・廃物の再利用、再エネ等の環境投資
 - ・IT、DXへの投資

<u>その他</u>

・運転資本の増加、法人税、手元資金充当など

カーボンニュートラルへの施策

2030年までは再生エネルギーの活用を進めながら、技術開発によるCO2削減策を模索し、目標達成を目指す。 2030年以降では、技術開発での貢献を増加させつつ、燃料切り替えやオフセットにより、カーボンニュートラルを目指す。



人財育成 ~5S活動~

30年以上活動を続けている5S活動により、保全や改善を常に検討する事が企業文化として根付いている。 ⇒全社活動を通じた、個人の成長と組織の発展を促す仕組みとなっている。

1993年12月キックオフ (OYPM活動) 30年以上 日々の活動と全社的なレビューを継続

整理

必要/不要の仕分け



しつけ

活動の習慣づけ改善の共有化



5S活動

整頓

効率的な配置 定置管理



個人の成長 組織の発展

企業文化として根付き





安全で清潔な 作業環境

清潔

きれいな状態の維持 異常発見がしやすい仕組み

清掃

日々の清楚・点検



当社の強みを支える基盤へ

高効率/高生産性な 仕組みの構築

2024年度 上期実績と通期業績予想

上期実績にて、化成品セグメントを中心とし業績が好調。 さらに下期にて半導体市場回復による電子材料セグメントの売上増を見込み上方修正を実施。

(百万円)

| | 2024年 上期 | | |
|-------------------------------|----------|--------|--|
| | 予想 | 実績 | |
| 売上高 | 14,500 | 15,338 | |
| 営業利益 | 1,400 | 1,859 | |
| 経常利益 | 1,500 | 1,988 | |
| 純利益* | 1,000 | 2,020 | |
| 国内ナフサ (¥/KL) (当社推定) | (70,000) | 75,750 | |
| 為替 (¥/\$) | (145) | 150 | |

(百万円)

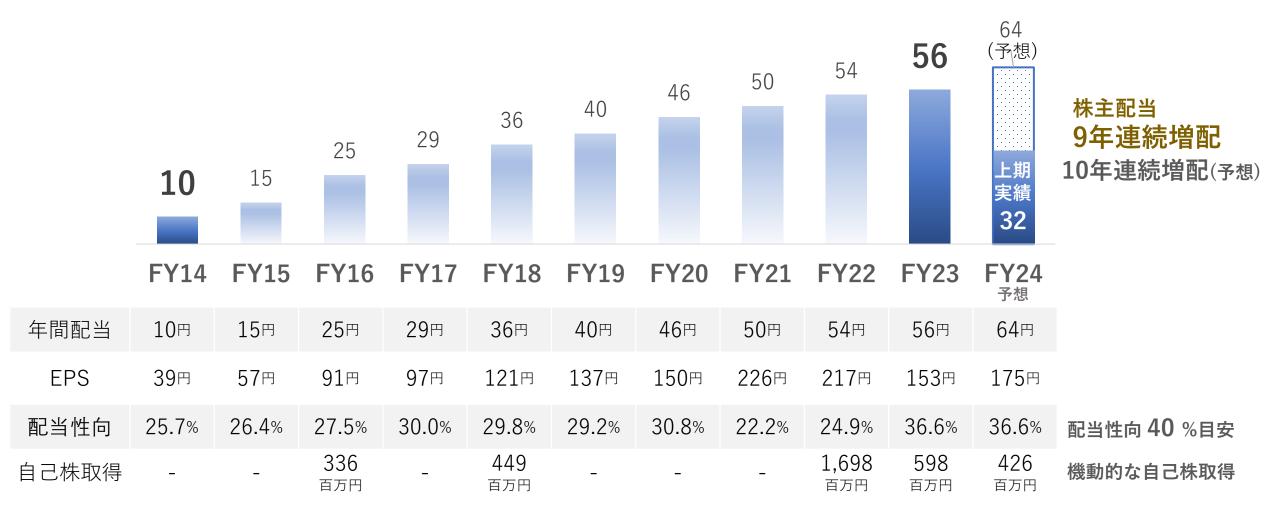
| 2023年 11月期 | 2024年 11 | 月期予想 | 前年実績比 | | |
|------------|----------|----------|--------|--------|--|
| 実績 | 修正前 | 6月26日修正後 | 増減額 | 増減率 | |
| 28,907 | 31,000 | 32,000 | +3,093 | +10.7% | |
| 3,577 | 3,700 | 4,200 | +623 | +17.4% | |
| 3,877 | 3,900 | 4,400 | +523 | +13.5% | |
| 3,270 | 2,700 | 3,700 | +430 | +13.1% | |
| 68,150 | (70,000) | (70,000) | _ | _ | |
| 140 | (145) | (145) | _ | _ | |

カッコ内は当初の想定値

^{*}親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

2024年度 株式配当

株式配当を9年連続増配。2024年度も大幅な増配を予想(56円⇒64円)。 配当性向 40%目安とし、機動的な自己株取得を実施し株主還元向上につなげていく。



<将来情報に関する注意事項>

本資料の業績予想や経営計画は、現時点において見積もられた見通しや計画であり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績等は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

【お問い合わせ】 管理本部 IR・広報担当 TEL 06-6264-5071 (代表)

